

三原市トマト産地協議会設立

【平成 29 年 2 月 14 日掲載】

三原市では、1月26日、新たなトマト産地を育成するため、三原市トマト産地協議会（会長：JA三原 田中義彦（たなかよしひこ）経済部長）の設立総会を開催しました。

当協議会は、生産者間の組織化と産地化、販売方法の検討を行い、新たなブランド「三原トマト」として、全国的な販売を展開することを目指しています。

JAでは、トマトのハウス施設（50a）を設置し、担い手育成のための研修農場を運営する計画が進められています。また企業からの参入で、養液栽培施設による栽培計画もあり、三原市としてトマト産地の育成を支援していくこととしています。

協議会の構成は、市内の個別6経営体、参入企業、研修農場運営組織、道の駅みはら神明の里と市内のスーパー、市場等流通関係者及び市、県も含む組織となっています。事務局は協議会長の他、副会長にJA広島中央指導販売課長、幹事2名の計4名体制でスタートしました。

今後、当協議会では、関係機関と役割分担をしながら、①産地拡大に向けた生産者間の情報共有、②販路拡大に向けたバイヤー等との意見交換会、③新規栽培希望者への基本的な技術指導を行うこととしています。



【三原市トマト産地協議会設立総会の様子】

情報提供元

東部農業技術指導所